



開院の翌年植えられた銀杏の木(当時2m)もこんなに大きくなりました。

理事長挨拶

2001年新しい世紀の始まりです。30年ほど前に漠然と21世紀になると53歳、そんな頃には何をやっているのだろうかなどと思いをめぐらしたものでした。信じられない夢の世界が現実となり、30年という時の流れに今、日本のシステム崩壊という激動の時を迎えております。現在あらゆる分野での新しい改革が求められています。明治維新での文明開化、この平成の時に心の文化を開花させるこれを平成維新と言ってよいのではないのでしょうか。人それぞれの価値が問われる時代をむかえてやっと先進国の仲間入りしそうな日本です。心を問われる21世紀をめざして、医療法人共和国は皆様に心からの信頼を得られる様、日夜、努力をいたしております。

医療、福祉の分野において現在、日本で今までに考えもしなかった事から新しい事への頭の切り替えに戸惑いが生じ、その改革が試行錯誤を繰り返しながら行われています。日本は独創という事に不得意であるとも言いましょうか、外国の模倣を行う事が明治以来、日常的に行われてきました。それはあたかも明治維新の鬮から散切り頭になるかの如く、また羽織はかまにハイヒールの如く、国際標準を意識するあまりに日本の文化に合わない様な滑稽なものにならないかと危惧しております。21世紀に考えられる医療スタイルというものを考えるにあたり、医療はどのように変わるのかという声をよく聞きますが私の答えは「皆様が考える事である」です。他人が考えるのでは無く、患者様も医療に従事する方たちも、難しいシステムを考えるのでは無く、皆様が主人公であり、どうしたいのか?何を求めるのか?純粋な欲求を反映出来る医療こそ私は必要と考えております。また私どもははたして現在、皆様の満足となる医療を提供を出来ているのか、我々のシステムを皆様が認めていただけるものであるかを知るために第三者機関が行っている医療機能評価を受け、合格認定されました。しかし受診に際して不備な点、考えもしなかった事などを指摘され、これらの改善もいたしました。全国の9,413病院のうちの397番目に認定を受け、愛知県で22番目、知多半島医療圏で初めての認定病院となり、私やスタッフにとりまして、大変な自信につながるものとなりました。私ども一同、皆様から必要とされる医療を提供できるよう21世紀もさらに躍進いたします。



共和病院地域医療連絡協議会

平成12年10月18日共和病院地域医療連絡協議会が当院にて開催されました。

これからの病院づくりや方向性を検討するうえで地域のニーズを反映させること、地域の人達の意見や要望をお聞きし参考にするを目的としたもので今年度からスタートさせた新しい事業です。

当日はボランティアグループや地域家族会、コミュニティーの代表者、グループホームの世話人さん、社会福祉協議会等の方々に参加されました。協議会は院長の会の目的をお話しすることから始まり、病院の機能、共和会の取り組み、共和病院の活動報告、中長期計画を報告させていただきました。また、意見交換の場面では参加者の方々からは、例えば「精神障害者の働く場として通所授産施設を市と病院とでつくってくださったので毎日楽しんで通っている」という子どもさんの例を挙げて、そういった場が医療と結びついたところで出来上がったことを評価してくださった話や、医師がもっと地域に出て健康について講演をしてほしいといった要望、地域の偏見を無くするにはどういった活動が必要か、ボランティアがどのような場で、どのように働いていたらよいか検討してほしいなどといった活発なご意見を頂きました。

地域に開かれた病院づくりを目指している私どもにとりましては、とても貴重なご意見を頂戴いたしました。

21世紀に向けて選ばれる病院になるために、これからはもっと広く、例えば周辺の住民の方々、近隣の会社・工場の方々もお招きをしてご意見を頂きたいと考えております。



中日友好病院

総務部 岡 秀宜

平成12年10月22日(日)19時15分、北京より名古屋空港にJAL788便が無事到着しました。到着ロビーは日曜日の夜という事もあり、大変混雑しており入国に多少時間がかかっている様子でした。40分程経ち3人の中国人女性が笑顔でゲートを出て来ました。今回13日間の研修を行う為に初めて来日した中日友好病院の崔鳳雲さん(看護婦)趙学軍さん(看護婦)朱愛平さん(外事処)です。3人共ほとんど日本語が分からないので、会話ではなく紙に漢字を書き何とか意思を伝えるという日本でのスタートとなりました。

中日友好病院は、北京にあり中国卫生部直轄で病床数1300床、職員数3000名の中国でもトップクラスの総合病院です。当病院は、1984年に日本と中国の共同で設立され世界各国より東洋医学を求め漢方治療を望まれる患者さんを受け入れており、外人専用病棟も有しています。



共和会スタッフと記念撮影

7年前加藤 仁理事長の友人である伊藤猛志郎さん(伊藤レーシングサービス社長)が、突発性難聴で中日友好病院に入院され治療を受け多大な効果を得られた事により交流が始まり、共和病院は今までに3回研修生を受け入れております。1999年6月に業務提携を交わす為加藤 仁理事長が中日友好病院へ出向き、又同年7月には中日友好病院長 何 惠宇先生が共和病院を訪れたりするなど、親善を深めております。

今回の研修目的は、今までと同様日本の社会及び病院を見る事ですが、特に「病院組織」「看護のシステム」「看護婦の立場」を知りたいとのことでした。

研修初日は、早朝より通訳の郭倍菁さん(大府市国際交流協会)と共に共和病院へ来られ、理事長、院長及び病院スタッフに挨拶し、早速院内見学に移り研修がスタートしました。研修では、3人共積極的に質問しており日本の現状を目の当たりにし大変驚いていた事も多く、

中日友好病院へ取り入れたい仕組みもたくさんあると熱心に勉強していました。午後は大府市役所を訪問し、福島市長さんと懇談する時間を頂き研修の目的と中日友好病院の実状を話しました。

共和病院に於ける5日間の研修を終える頃には随分日本にも慣れ、彼女達にとって第二の目的であるショッピングについて

何処の店が良いか、いろいろな方に尋ねていました。共和病院以外では、相生山病院・憩の郷・



大府市役所訪問

老人保健施設ルミナス大府・あいち健康プラザ・聖隷浜松病院・聖隷三方原病院・和合愛光園等を視察しました。又、休日はジェイアール名古屋高島屋や東京ディズニーランド等へ行き多少過密スケジュールではありましたが体調を崩す事なく充実した2週間を過ごし、11月3日(金)日本での研修日程を無事終了し帰国しました。

中国は、4000年の歴史を持ち人口12億3000万人を抱える大国です。この10年で凄まじい変化をしており、今回来日した3名の研修生のような若者がたくさん日本を訪れて、いろいろな分野で勉強しています。公式ではありませんが、私たちがこのように研修生を受け



入れる事で少しでも役立つ事が出来れば、大変意義のある国際交流となるのではないのでしょうか。

実習風景

共和会互助会

互助会長 小林博美

互助会の目的である、互助会員の親睦・融和は共和会で楽しく仕事をする上で重要なポイントであり、また共和会の医療技術向上、患者サービス向上には職員間、特に異職種間の親睦コミュニケーションが重要です。互助会の役割は、これを発展させる事であると思います。

皆さんこんにちは、私は「長野県の雪深い村、マンモスの化石が発見された村で育ったものです。」と聞けば、



共和会ホームパーティ

純朴な好青年と思いきや、飲んで、歌って、バカ騒ぎのできる三拍子揃った・・・？診療放射線技師です。こんな私が、共和会互助会の会長という職について、二百余名の会員の方々といっしょに、レクリエーション・冠婚葬祭を行うこと事態、無謀なことだと思いましたが、幸い親友・悪友に恵まれ、何とかやってこれたのもこのの方々のおかげだとつくづく思う今日この頃です。互助会の活動内容も、発足当時の互助会と今現在の互助会とでは行事企画も細分化し、行事の参加も一部受益者負担もあり大変だと思えます。互助会員の皆様が、一人でも多く行事に参加し、楽しく、和気あいあいと時間が過ごせるように、心くばりをしながら運営にあたっていますが、会員一人一人の協力を得て、初めて楽しい互助会になると思えます。また、共和会のさまざまな変貌とともに、個人主義の浸透する中で「互助会」という親睦団体のあり方自体が議論される時代になってきた様に思われます。今後「互助会」という名で行う企画・行事も「個人主義中心で行なっていくべきなのか?」、また「全体として自分自身が納得して、行なう行事を企画していくのか?」によって互助会の活動内容も変わって行く事だと思えます。一つの案として、互助会自体も冠婚葬祭を中心として活動し、レクリエーション自体を別に考え、積立金制度を取り入れる方法も一つの考えだと思えます。まだまだ色々な意見・案があるかと思えます。今後互助会員の話を聞き、更なる一歩を踏み出して行かなければならないと思えます。

最後に、病院という有資格者が多く集まっている職場では、ややもするとセクショナリズムが強く、協調性が乏しくなりがちです。その表を裏打ちして補う、和の場に互助会はうってつけだと私は思っています。私の任期も1年少々になりましたが、共和会の理念の一つである「楽しい職場」に向けての一助になればと願っています。



共和会ホームパーティ

編集後記



どぶろく祭り



「どぶろく祭り」。いわずと知れた御当地大府の長草天神社に500年以上の長い伝統を持つ天下の奇祭です。参拝客に香り高いどぶろくを振る舞い、このどぶろくを口にすると1年間無病息災で過ごすことができるという言い伝えがあり、年毎に参詣者もふえ、その名は遠く広く知れわたっています。

私も地元の青年会員として中学生の頃から笛や太鼓、また猩猩(大酒のみの神様)とともにこの奇祭を盛り上げてきました。そして平成11年度、青年会引退の年に、縁あって、共和病院行事のクリスマス会にてパフォーマンスする機会を得、「これは地域伝統行事を皆さんにアピール出来る絶好の機会だ。患者様が地域行事に触れる良い機会にもなる!」と思い(ただ単に目立ちたいだけなのか…)、二つ返事で参加することとなりました。身長(全長?)2メートルを越す猩猩の姿に会場の参加者は皆、度肝を抜かれた様子で、また聴きなれない横笛の音色にウツリと耳を傾けていました。また、猩猩に頭を軽くたたかれるとどぶろく同様、無病息災の効果があることを説明すると、頭を差し出してくる希望者が多いこと多いこと…。この光景を見たほかの青年会員からは、「皆、祭り事に関心あるんだね。楽しそうだったし。でもビックリしたなあ」と驚きの声が多く、いつも神社での奉納でしか演舞しなかったけど、なかなか神社まで足を運んでいただけない障害をもつ方たちにも喜んで頂けて本当に良かったと思いました。演舞終了後、院長が楽屋まで来て「頭をたたいて」と言った時にはさすがに私もびっくりしましたけれど…。

今回のアイデアに賛同し参加していただいた、地域の方々、青年会員に感謝しています。

今年も2月下旬に長草どぶろく祭りが開催されます。任期終了で私はもう笛を吹くことは出来ませんが、何らかの形で地域行事に関わって行きたいと思っています。皆さんも一度遊びに来て見ませんか? 朝倉 起己

お薬の話

共和病院 薬事科

薬には色々な種類があり、形によって飲み方、用い方が違います。大きく分けて内服剤、外用剤、注射剤がありますが、それぞれ病気や症状に合わせて用いられ、効率よく効き、しかも取り扱いやすいように工夫されています。今回は内服剤と外用剤の特徴についてお話したいと思います。

【内服剤】

内服剤とは、口から飲む薬の事で、内用剤、経口剤とも呼ばれています。用い方が簡単で作用が穏やか、有効時間が長い、保存性が高いといった特徴があり散剤、顆粒剤、錠剤、カプセル、シロップなどがあります。しかし、消化管から吸収されるので効果があらわれるまでに時間がかかり、薬によっては胃腸などの機能に障害を起こすことがある、といった短所もあります。

【外用剤】

外用剤は、皮膚や粘膜など体の表面に直接作用するお薬です。

最近では、皮膚や粘膜の病変を治療する薬だけでなく、皮膚からお薬を吸収させて心臓病の治療や予防をしたり、熱や痛みなどをとる外用剤も増えています。軟膏剤、貼付剤、噴霧剤、点眼剤、点耳・点鼻剤、坐剤などがこれにあたります。外用剤は皮膚疾患などに直接作用するので、効果が早く確実です。また、消化管を経由しないので胃腸障害などの副作用がないことも長所の一つです。しかし外用剤は応用範囲が狭いなどの短所もあります。

※今回は都合により「子育てノウハウ」お休みさせていただきます。

21世紀!! 明けましておめでとうございます。
広報誌「WA!」も2年目に突入というか、20世紀から21世紀に存在する広報誌ということで自ら「鼻高々」になっています。そんな子供を頼もしく思いながら、生みの親である私共編集委員は今年も「初心忘れべからず」で「WA!」を育てていきたいと思っています。1年で4回の発行予定のなかで毎号楽しみにしていただくよう頑張りますので宜しく願いいたします。何と云っても読者の皆様の声援がPOWERの源ですから…。

さてPOWERの源と云うことで個人的には「地力」の恵みを受けることに最近熱中しています。簡単に言えば「温泉」です。有名無実なものが多いのですが、晩秋に行った長野県御岳山の源泉は流石でした。熱いと云うわけではないのですが、入泉すればすぐに一味違うと実感できました。そんなPOWERのおかげであんなに好きだった栄養ドリンクを飲まなくなりましたね。では次回の特集は3/17(土)開催予定の「知多半島地域心の健康フェスティバル」です。お楽しみに!!

特集

受審してみても思いつくこと

共和国第40期平成10年度の経営方針発表会で、病院機能評価受審が発表され翌年には、訪問審査を受ける予定になった。しかしその意識が明確にあった職員が何人いただろうか？機能評価機構自体の評価が一部の医療関係者の中で、疑問視されていた時期である。そんな中、当院はとにかく受審する事になった。



なつた。まずはスタートラインに立たなければ何も始まらない。千里の道も一歩からと、機能評価機構主催の研修会に参加することにした。(理事長と私そして花隈君)結果は受審(平成11年8月を予定)が当院にとつては難しい時期になると予想された。その理由として、当時の病院は内科の一般病床をすべて療養型にするのか、ケアミックス型にするのか議論の最中で、時期的には改修工事と重なる事、また平成11年7月には従来のものではなく、病院機能評価11年版が出ることになっている。勇気を持つて1年先送りする方が賢明な策と考えられた。

機構側の事業部長滝沢氏に事前相談し、院内で協議した結果、受審申込みの時期を1年先にする事になった。内心は少し「ほっ」としていると思う。しかし1年経つのは早いもので平成11年8月には改修も完了し、新たに内科一般病床は療養型病床として生まれ変わり、受審種別も複合A(精神病院種別A)と長期療養に決まり受審申込みをした。訪問審査は



平成12年8月中旬頃、「さあ今度は逃げられない」とやれるだけやろうと腹を決め行動に移った。受審準備委員会を足させ役割分担を明確にし、それぞれの立場でマニュアル等が作成された。各部の担当責任者が日々苦勞の連続であつた

たと信じて疑いません。訪問審査前日まで院内掲示には「ハラハラ」しましたが、一寸楽しい感じもあり、「優しい医療・楽しい職場」の理念が少し肌で感じられた一瞬でした。皆の目的が一つになった時、痛みや苦勞そして涙の意味がわかる時、誰にも「それは」見えてくると思っています。

病院機能評価

病院を始めとする医療機関が提供する医療サービスは、医師・看護婦等様々な専門職の技術的・組織的連携によつて担われていますが、医療の受け手である患者のニーズを踏まえつつ、質の高い医療を効率的に提供していくためには、組織体としての医療機関の機能の層の充実・向上が図られる必要があります。そこで今から5年前(1995年)、国民の医療に対する信頼を揺るぎないものとし、その層の向上を図るために、医療機関の機能の改善・向上を図り、地域住民の信頼を高めるため、国民的な基盤

に立つて、特定の立場に偏ることのない中立な立場で評価し、その結果明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関として財団法人日本医療機能評価機構が設立されました。評価内容は、

- 1、病院の理念と組織基盤
- 2、地域ニーズの反映・地域ケアへの参加とサービスの継続性
- 3、診療の質の確保
- 4、看護の適切な提供・ケアの適切な提供
- 5、患者の満足と安心
- 6、病院運営の合理性
- 7、精神科に特有な病院機能・リハビリテーションとQOLへの配慮の大項目の元、精神Aで3・2・3項目、長期療養で2・6・7項目にわたる項目を審査し、評価の結果により改善が必要な問題点を明らかにし、病院が指摘された問題点を適切に受け止め、その改善に取り組んで成果がえられれば、その病院の基本的な性格、地域特性、経営面での諸条件を考慮し、指摘された問題点の背景や改善・解決の実現性等を十分に検討した上で認定証が発行されます。

詳細については財団法人日本医療機能評価機構ホームページ(<http://www.icjhc.or.jp/>)をご覧ください。2000年11月20日現在、全国で397の施設が認定を受けています。当院は愛知県で22番目、知多地区では一番最初の機能評価認定の病院となりました。



インフルエンザ 来襲!

本格的な冬を迎えいよいよ「冬將軍」の到来です。この季節で毎年悩

まされるのが、招かざる敵「インフルエンザ」です。インフルエンザはいわゆる「かぜ」とは異なり、突如として強烈な流行が発生することが特徴で、過去「スペインかぜ」「香港かぜ」など世界中で大流行し、多くの死者を出したこともあります。またインフルエンザは単に個人の健康を損なうだけでなく大流行により仕事に支障が出たり、勉強が遅れるなど社会的にも重大な影響もきたします。では「インフルエンザ」とは一体どのようなものなのでしょうか？今回はインフルエンザについて簡単にお話してみましよう。「インフルエンザ」はインフルエンザウイルスによって引き起こされ、突然39度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、併せて咽の痛み、鼻汁などの上気道症状もみえます。更に肺炎、心筋炎、脳炎など重大な合併症を引き起こし、死に至らしむこともある恐ろしい病気なのです。流行が始まると、短期間に小児から高齢者まで多数の人を巻き込むという点でも普通の「かぜ」とは異なります。

インフルエンザウイルスにはA、B、Cと3つの型がありますが、普通インフルエンザと呼ぶのはA型とB型インフルエンザのことです。特に激しい症状を来すのがA型インフルエンザで、A型は更にH（15種類）とN（9種類）で細かく分かれ、現在地球上で流行している型はAソ連型（H1N1）、A香港型（H3N2）の2種類です。しかしながら同じA型H1N1、A型H3N2でも微妙な違いがありこれが年によって微妙に変化するため、昨年インフルエンザにかかった人でも、今年微妙に違うウイルスが流行すればやはり今年もかかってしまう可能性があるわけです。このようにインフルエンザウイルスは毎年少しずつ性質

を変えて襲ってきますので、世界中の専門家が情報を交換しながら、

その年の冬に流行するタイプを予測し、ワクチンが準備されています。必ずしも100%発症を予防することは出来ませんが、近年予測が正確になってきたこともあり、かなりの発症予防効果があると言われていています。しかし不幸にしてインフルエンザにかかってしまったら、或いはかかったかなと思ったら、なるべく早く医療機関にかかりましよう。つつい「たいしたことはない」「今日は忙しい」などと言ってお医者さんにかかるのが遅くなりがちですが、インフルエンザウイルスは体内に感染してから約24時間で症状が現れます。その間もウイルスはどんどん増殖しています。早めに医師に相談するようにしましょう。

近年、インフルエンザウイルスの抗原の有無を調べる検査キットが登場し、一般の医療機関で約15分という短時間で調べられるようになりました。今までのインフルエンザ治療は「熱や頭痛などの症状を抑えるための治療」でしたが、最近ではインフルエンザウイルスに働きかけて、ウイルスの増殖を阻害する「抗ウイルス薬」を用いた治療も行われるようになりました。しかしこれらは発症後24～48時間以内に投与されねば効果がないこと、一部の薬で耐性を将来来すのではないかと懸念、副作用のこと、またやはり一部の薬で健康保険の適応外であると言うことなどインフルエンザに対する治療の選択肢の拡大がみられたものの、まだまだ解決しなければならぬ点もいくつかあるというのが現状です。最後に申し上げますが、基本的には昔から言われているように「うがい、手洗い、人混みをさける、無理をしない」など予防が最も大切であることは言うまでもありません。



共和会理念・基本方針

『優しい医療・楽しい職場』

- 私たちが目指す『優しい医療』とは!**
- 患者様に安心と満足を提供する医療
 - 良質且つ効率的な医療の提供
 - 患者様へのサービスの充実
- 私たちが目指す『楽しい職場』とは!**
- 毎日の出勤が楽しくなる職場
 - 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
 - 職員の満足が患者様へ反映される職場

当院をご利用の皆様へ

わたくしたちは、利用者の皆さまへより良い医療をやさしく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただくために努力しています。それには利用者の皆さまと医療者の意志の疎通が最も重要であると考えます。これを実現するために、わたしたちは思いやりのある、人格を尊重した医療を提供するとともに、以下のような医療を目指しています。

- 1.あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
- 2.あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
- 3.あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
- 4.あなたの医療上の個人情報保護されます。

病院長 榎本 和



医療法人 共和会 **共和病院**

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>

明治二十九年十一月、第五高等学校の修学旅行について天草・島原方面に出かけ、天草灘に沈む夕日を眺めて詠うたと云われています。元禄の頃の俳人言水の有名な句「木枯の果はありけり海の音」を知って作ったのでありますが、すばらしい句ではありませんか。丁度この頃作句に「番熱中して多作、俳人として知られる様になつたのであります。漱石という雅号は中国の蒙求という本の中の有名な故事から出ています。孫楚という人が俗世間から隠遁しようとして親友の王済に心境を伝える時、自然に親しむという意味の「枕石漱流」というべきところ「漱石枕流」と間違つてしまひ、親友王済が「流れに枕することは出来ず、石で口を漱ぐことも出来ない。そんなことで隠遁なんか無理だ」と笑われたので「流れに枕するのは耳を洗うため、石に漱ぐのは歯を磨くためなのだ」と屁理屈をいって弁解したという話です。つまり「枕石漱流」はへそ曲がり、負けず嫌いという意味の諺になつていきます。東京を離れて松山へ行つたり、総理大臣の招待をこつたり、文学博士をあげるといわれて、そんなものはいらんとしたり、本当に痛快ではありませんか。私はこんな漱石が好きです。そしていつも私のポケットには千円札になつてあなたたく入つていてくれます。十一月九日は永眠の日。

「ポケットに温かきものあり 漱石忌」

俳句ヨーオ

名 院 長
加 藤 邦 助

風や
海に夕日を
吹き落す
漱石